

gallery

住まいのカタチ

設計

石 憲明

住まいの設計において、とくに力をいれているのは、クライアントであるみなさんとの対話です。対話のなかから設計のヒントを見つけ出し、それを機能と結びつけながら「住まいのカタチ」として提案したいと考えています。

たとえば、思いやり、愛情、安らぎ、真夏の木陰に吹き抜ける風のような、あるいは春のひだまりのような心地よさ。そうした言葉にならない思いをくみ取り、それを実際のカタチにする。そうやって、〈優しさ〉や〈思い〉をカタチにすることで、暮らしは変わっていきます。

時にその「カタチ」は、周囲の景色と混ざり合いながら、建物の外部と内部のつなげる空間となってあらわれることもあります。便利さや広さばかりを優先するのではなく、リビングと一体となった外部空間や四季折々の借景を楽しめる大きな窓、そうした「住まいのカタチ」が、そこに暮らす家族の豊かな未来を育んでいくと考えています。

石 憲明(せき のりあき)

1976 兵庫県生まれ
1999 大阪大学工学部環境工学科卒業
2000 一級建築士事務所@HAUS ARCHITECTS 参画
2001 大阪大学大学院工学研究科 環境工学専攻卒業
2003 GoNs 建築設計事務所共同設立
2005 一級建築士事務所 seki.design 設立
2012 一級建築士事務所 株式会社 seki.design 設立
<http://sekidesign.com/>

撮影 福澤昭嘉



アウトドアリビングの家

川沿いの桜並木に面したのどかな住宅地の一角。プライバシーを確保しながら桜並木を一年中感じられる空間を目指しました。

外部と内部の境界を曖昧にし、自然と外に出てしまうような、庭でもテラスでもない新しい外部空間、それがアウトドアリビングです。LDKからアウトドアリビングへ、さらに桜並木へと連続してつながる家族団らんのための空間が広がります。



庭園借景の家

1988年竣工のRC壁式構造の邸宅を改修しました。2階北側のキッチン、中庭テラスへのつながりを意識した空間としています。南側のリビングには日本庭園を借景とする大きな窓を設けた住み心地の良い空間としました。

企画編集 澤田純一(作品作風小委員会)